



的場 健介ちゃん(駒形)
父・勇一さん 母・晶代さん
平成20年8月29日生まれ
「元気に大きくなってね♡」



原口 太吾ちゃん(門井町)
父・良彦さん 母・美紀さん
平成20年8月19日生まれ
「元気が一番!」



大島 結月ちゃん(長野)
父・和祥さん 母・久恵さん
平成20年8月31日生まれ
「優しく思いやりのある子に☆」

はじ め ま し て



小林 真土ちゃん(城西)
父・健一さん 母・衣美子さん
平成20年8月6日生まれ
「元気で活発な男の子に♡」



岡田 蘭ちゃん(堤根)
父・健二さん 母・絵美子さん
平成20年8月19日生まれ
「らんらん♡蘭です」

平成20年10月生まれのお子さんを募集します

○8月31日(月)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください



○応募者多数の場合は、9月1日(火)午後1時30分から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

下忍陶芸クラブ

～「作る・使う・贈る」の3つの楽しみ～



今月紹介するのは、平成16年4月に発足した下忍陶芸クラブです。会員は15人で、第2・4水曜日の午前9時から正午まで「みらい」作陶室で活動しています。

同クラブで

は、丸めた粘土の中央にくぼみを作って薄く広げたり、ひも状にした粘土を積み上げたり、板状の粘土を加工したりするなど、作りたい作品に合った方法で形を作ります。また形作る作業だけでなく、色を付ける作業も陶芸の面白いところ。素焼きをした作品に、悩みながら複数の色を塗り重ね、どのような色に焼き上がるのかをイメージする楽しみがあるそうです。長年やっている人でもひびが入ってしまったったり、想像していた色と違ってしまったりすることがあり、陶芸の難しさや奥深さを感じると皆さん口をそろえます。

完成した作品は皿、湯飲み茶わん、抹茶茶わん、コーヒーカップなどの食器類や花瓶、置き物など、日常生活で気軽に使えるものばかり。さらにそれらを親しい人にプレゼントすることもあり「贈った陶器を使ってもらえるととてもうれし」と顔をほころびさせる方も。陶芸は



「作る楽しみ」「使う楽しみ」「贈る楽しみ」を味わうことができる芸術なのです。講師のアドバイスを受けながら、自分で出来るところまで作ってみるという積極的な方が多く、さらには自宅でも作業をするほど熱心に取り組んでいる方もいて、皆さんにとって陶芸はかけがえのない趣味になっているようです。「今後は他の展示会などに出品する機会を増やせば」と話す会長の瀬山健三さん。皆さんは今日もどのような作品を作ろうかとアイデアを膨らませ、陶芸に親しんでいます。

▼問い合わせ 下忍公民館 ☎553-1418